

2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月8日

上場会社名 岡山県貨物運送株式会社 上場取引所 東

コード番号 9063 URL https://www.okaken.co.jp/

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 遠藤 俊夫

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 馬屋原 章 TEL 086-252-2111

四半期報告書提出予定日 2019年11月11日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無:無 四半期決算説明会開催の有無:無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年9月30日)

(1)連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益 営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益			
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	21, 548	1. 2	988	0. 2	1, 190	10.8	825	16.0
2019年3月期第2四半期	21, 295	4. 5	986	15. 4	1, 074	16. 2	711	19.3

(注)包括利益 2020年3月期第2四半期 743百万円 (△0.3%) 2019年3月期第2四半期 746百万円 (5.6%)

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	407. 25	_
2019年3月期第2四半期	350. 93	_

(注) 当社は、2018年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2)連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	41, 809	16, 702	39. 9	8, 225. 27
2019年3月期	43, 020	16, 103	37. 4	7, 928. 12

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 16.677百万円 2019年3月期 16.075百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円 銭	円 銭	円銭	円 銭	円 銭	
2019年3月期	_	0.00	_	70.00	_	
2020年3月期	_	0.00				
2020年3月期(予想)			_	70. 00	70. 00	

⁽注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無:無

※当社は、2018年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。2019年3月期の1株当たり期末配当金については、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「一」として記載しております。

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

		営業収	Z 益	営業和	引益	経常和	引益	親会社株芸		1株当たり 当期純利益
福	5 甘田	百万円 43 900	% 1 <i>A</i>	百万円 2 080	% 7.2	百万円 2 170	% 2.6	百万円 1 400	% 1 1	円 銭 690.45
通	期	43, 900	4.4	2, 080		2, 170			400	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無:無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動):無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用:無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①会計基準等の改正に伴う会計方針の変更:無②①以外の会計方針の変更:無③会計上の見積りの変更:無④修正再表示:無

(4)発行済株式数(普通株式)

1	期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	2, 200, 000株	2019年3月期	2, 200, 000株
2	期末自己株式数	2020年3月期2Q	172, 448株	2019年3月期	172, 294株
3	期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	2,027,647株	2019年3月期2Q	2, 028, 045株

- (注) 当社は、2018年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度 の期首に株式併合が行われたと仮定して、「期中平均株式数(四半期累計)」を算定しております。
- ※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です
- ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、発表日現在のデータに基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1.	当日	四半期決算に関する定性的情報	2
	(1)) 経営成績に関する説明	2
	(2)) 財政状態に関する説明	2
	(3))連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2.	四3	半期連結財務諸表及び主な注記	3
	(1))四半期連結貸借対照表	3
	(2))四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
		四半期連結損益計算書	
		第2四半期連結累計期間	5
		四半期連結包括利益計算書	
		第2四半期連結累計期間	6
	(3))四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
	(4))四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
		(継続企業の前提に関する注記)	8
		(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
		(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1)経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善により緩やかな回復基調で推移しているものの、米中貿易摩擦の長期化や英国のEU離脱問題など、海外情勢の不確実性を受け景気は先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの主要な業務である物流業界におきましても、国内総輸送量は、減少傾向で推移しており、ドライバー不足を主因に人件費・外注費の上昇が続く中、さらには燃料価格の動向にも注視する必要があり、厳しい経営環境下で推移しております。

このような状況のもとで当社グループは、今年の会社目標を「働き方改革の推進と輸送品質の向上」と定め、長時間労働を是正するとともに労働環境、労働条件を改善し人材の確保を進め、さらには生産性の向上とコストの削減に努めてまいりました。また、お客様のご理解をいただき適正運賃・諸料金(付帯作業料等)の収受にも努めてまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の営業収益は215億4千8百万円(前年同四半期比1.2%増)となり、営業利益は9億8千8百万円(前年同四半期比0.2%増)、経常利益は11億9千万円(前年同四半期比10.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は8億2千5百万円(前年同四半期比16.0%増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

貨物運送関連

貨物運送関連につきましては、運送需要の動きが弱く貨物取扱量は前年同四半期に比べやや減少しましたが、営業活動の強化とともに適正運賃・料金の収受に取り組んだことなどにより、営業収益は204億7千2百万円(前年同四半期比1.0%増)となり、営業利益は9億6百万円(前年同四半期比1.9%増)となりました。

② 石油製品販売

石油製品販売につきましては、燃料販売量の減少及び販売単価の下落などにより、営業収益は6億2千9百万円 (前年同四半期比7.2%減)となり、営業損失は0百万円(前年同四半期は8百万円の営業利益)となりました。

③ その他

その他につきましては、自動車用品販売、フォークリフト販売及び一般労働者派遣等を含んでおり、営業収益は 4億4千5百万円(前年同四半期比25.0%増)となり、営業利益は7千2百万円(前年同四半期比6.9%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は418億9百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億1千1百万円の減少となりました。これは、現金及び預金、受取手形及び営業未収入金の減少等により流動資産が12億5千3百万円減少し、車両運搬具の増加、株価の下落による投資有価証券の減少等により固定資産が4千2百万円増加したことによるものであります。

負債につきましては、251億6百万円となり、前連結会計年度末に比べ18億1千万円の減少となりました。これは、短期借入金の減少及び長期借入金の増加(主にシンジケートローンの契約終了に伴う返済及び新規借入)等により流動負債が36億1千8百万円減少し、固定負債が18億7百万円増加したことによるものであります。 純資産につきましては、167億2百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億9千9百万円の増加となりました。これは主に利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、米中貿易摩擦や各国の金利引き下げ動向、日韓関係が及ぼす影響が懸念されるなど先行き不透明な状況が続くものと思われます。

輸送業界におきましては、消費税10%への引き上げの影響により輸送量の減少や最低賃金引上げ、人手不足の長期化によって人件費を含めたコスト負担が増加するなど、厳しい経営環境が続くものと思われます。

このような状況下、当社グループでは、引き続き労働環境及び労働条件の改善に努め優秀な人材の確保に努めるとともに、人材の育成、さらなる輸送品質の向上を図り、お客様に満足していただける輸送品質で、信頼され選ばれる会社を目指す所存であります。

通期の連結業績予想につきましては、現時点では2019年5月10日公表時からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

	V >4.1 A =1.4.2	(単位: 下円)
	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6, 658, 112	5, 714, 825
受取手形及び営業未収入金	7, 241, 059	6, 769, 168
たな卸資産	142, 995	127, 354
その他	332, 786	509, 671
貸倒引当金	△2, 982	△2, 768
流動資産合計	14, 371, 971	13, 118, 251
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7, 332, 292	7, 256, 549
車両運搬具(純額)	1, 539, 491	1, 679, 564
土地	15, 497, 184	15, 498, 615
その他(純額)	292, 857	276, 335
有形固定資産合計	24, 661, 825	24, 711, 064
無形固定資産	604, 140	590, 418
投資その他の資産	,	,
投資有価証券	2, 916, 566	2, 806, 436
その他	478, 503	595, 437
貸倒引当金	\triangle 12, 351	\triangle 12, 351
投資その他の資産合計	3, 382, 718	3, 389, 522
固定資産合計	28, 648, 684	28, 691, 005
資産合計	43, 020, 656	41, 809, 256
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	3, 032, 484	2, 802, 728
短期借入金	9, 509, 115	6, 372, 632
未払法人税等	576, 017	515, 119
賞与引当金	266, 230	405, 250
その他	2, 553, 859	2, 223, 699
流動負債合計	15, 937, 706	12, 319, 430
固定負債		
長期借入金	7, 347, 306	9, 056, 459
役員退職慰労引当金	108, 424	98, 654
退職給付に係る負債	3, 112, 168	3, 192, 579
資産除去債務	104, 778	105, 526
その他	307, 086	334, 222
固定負債合計	10, 979, 762	12, 787, 441
負債合計	26, 917, 469	25, 106, 871
	, ,, ===	, , , - : -

		(十四:111)
	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2, 420, 600	2, 420, 600
資本剰余金	1, 770, 388	1, 770, 388
利益剰余金	11, 654, 725	12, 338, 552
自己株式	△293, 208	△293, 661
株主資本合計	15, 552, 505	16, 235, 879
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	490, 024	408, 681
退職給付に係る調整累計額	33, 379	32, 614
その他の包括利益累計額合計	523, 403	441, 295
非支配株主持分	27, 277	25, 209
純資産合計	16, 103, 186	16, 702, 385
負債純資産合計	43, 020, 656	41, 809, 256

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

		(単位:十円)
	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業収益	21, 295, 250	21, 548, 136
営業原価	19, 497, 301	19, 689, 286
営業総利益	1, 797, 948	1, 858, 849
販売費及び一般管理費	811, 913	870, 479
営業利益	986, 034	988, 369
営業外収益		
受取利息	24	21
受取配当金	25, 069	27, 228
受取賃貸料	87, 516	84, 246
持分法による投資利益	32, 631	33, 081
受取保険金	_	118, 585
その他	48, 069	51, 907
営業外収益合計	193, 310	315, 072
営業外費用		
支払利息	102, 501	93, 047
その他	2, 300	19, 739
営業外費用合計	104, 802	112, 786
経常利益	1, 074, 542	1, 190, 655
特別利益		
固定資産売却益	21, 034	41, 963
特別利益合計	21, 034	41, 963
特別損失		
固定資産売却損	9, 196	34
特別損失合計	9, 196	34
税金等調整前四半期純利益	1, 086, 380	1, 232, 584
法人税、住民税及び事業税	459, 074	483, 951
法人税等調整額	△85, 950	△77, 177
法人税等合計	373, 123	406, 773
四半期純利益	713, 256	825, 811
非支配株主に帰属する四半期純利益	1, 544	44
親会社株主に帰属する四半期純利益	711, 711	825, 766

(四半期連結包括利益計算書) (第2四半期連結累計期間)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	713, 256	825, 811
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	27, 540	△81, 342
退職給付に係る調整額	5, 493	△764
その他の包括利益合計	33, 034	△82, 107
四半期包括利益	746, 290	743, 703
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	744, 745	743, 658
非支配株主に係る四半期包括利益	1, 544	44

	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間
	(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1, 086, 380	1, 232, 584
減価償却費	792, 810	797, 142
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△6, 870	$\triangle 9,770$
貸倒引当金の増減額(△は減少)	$\triangle 425$	△214
賞与引当金の増減額 (△は減少)	123, 980	139, 020
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	119, 121	79, 981
有形固定資産売却損益(△は益)	△11,838	△41, 929
受取利息及び受取配当金	△25, 093	△27, 250
支払利息	102, 501	93, 047
持分法による投資損益(△は益)	△32, 631	△33, 081
受取保険金	_	△118, 585
売上債権の増減額 (△は増加)	374, 811	471, 890
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△3, 705	15, 641
仕入債務の増減額(△は減少)	△131, 893	△229, 755
未払消費税等の増減額(△は減少)	86, 349	△198, 681
その他	△214, 318	△297, 664
小計	2, 259, 179	1, 872, 374
利息及び配当金の受取額	50, 378	57, 592
利息の支払額	$\triangle 105,707$	△96, 719
法人税等の支払額	$\triangle 320,936$	△541, 026
営業活動によるキャッシュ・フロー	1, 882, 913	1, 292, 221
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	$\triangle 251,501$	△251, 500
定期預金の払戻による収入	265, 000	250, 000
投資有価証券の取得による支出	$\triangle 5,616$	△5, 843
有形固定資産の取得による支出	△640, 780	△664, 275
有形固定資産の売却による収入	23, 745	44, 306
その他	$\triangle 12,620$	$\triangle 17,412$
投資活動によるキャッシュ・フロー	△621, 773	△644, 724
財務活動によるキャッシュ・フロー		·
短期借入金の純増減額 (△は減少)	5,000	△163, 000
長期借入れによる収入	1, 950, 000	3, 700, 000
長期借入金の返済による支出	$\triangle 2, 324, 221$	△4, 964, 330
自己株式の取得による支出	△653	△452
配当金の支払額	△161, 578	$\triangle 141,204$
その他	\triangle 20, 211	△23, 297
財務活動によるキャッシュ・フロー	△551, 665	△1, 592, 284
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	709, 474	△944, 787
現金及び現金同等物の期首残高	5, 512, 605	6, 298, 107
現金及び現金同等物の四半期末残高	6, 222, 080	5, 353, 319
元本人の元本国子が小は干別不込间	0, 222, 000	0, 000, 019

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) 該当事項はありません。

(セグメント情報)

- I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
- 1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他		調整額	四半期連結 損益計算書
	貨物運送 関連	石油製品 販売] 	(注) 1	合計	(注) 2	計上額 (注) 3
営業収益							
外部顧客への 営業収益	20, 260, 864	677, 759	20, 938, 624	356, 625	21, 295, 250	_	21, 295, 250
セグメント間 の内部営業収 益又は振替高	15,800	1, 285, 644	1, 301, 444	642, 033	1, 943, 478	(1, 943, 478)	
計	20, 276, 664	1, 963, 404	22, 240, 069	998, 659	23, 238, 728	(1, 943, 478)	21, 295, 250
セグメント利益	889, 253	8, 859	898, 112	77, 760	975, 872	10, 161	986, 034

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車用品販売、フォークリフト販売及び一般労働者派遣等を含んでおります。
 - 2. セグメント利益の調整額10,161千円は、セグメント間取引消去であります。
 - 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
- 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報 該当事項はありません。
- Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
- 1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			その他		調整額	四半期連結 損益計算書
	貨物運送 関連	石油製品 販売	計	(注) 1	合計	(注) 2	計上額 (注) 3
営業収益							
外部顧客への 営業収益	20, 472, 908	629, 287	21, 102, 196	445, 940	21, 548, 136	_	21, 548, 136
セグメント間 の内部営業収 益又は振替高	15, 565	1, 177, 848	1, 193, 414	590, 745	1, 784, 159	(1, 784, 159)	ĺ
計	20, 488, 474	1, 807, 136	22, 295, 610	1, 036, 685	23, 332, 296	(1, 784, 159)	21, 548, 136
セグメント利益 又は損失 (△)	906, 462	△719	905, 742	72, 425	978, 167	10, 202	988, 369

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車用品販売、 フォークリフト販売及び一般労働者派遣等を含んでおります。
 - 2. セグメント利益又は損失の調整額10,202千円は、セグメント間取引消去であります。
 - 3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
- 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報 該当事項はありません。